

情報連絡員報告を中心とした

# 県内の中小企業動向

平成24年10月期

情報連絡員50名 回答数50名

## 全体概要 【前月からの動き】

### 前月比

- ▶ 製造業では、売上高において「増加した」業種は3から4に増加。「減少した」業種は10から8に減少。
- ▶ 製造業では、売上高において「増加した」業種は6から11に増加。「減少した」業種は13から8に減少。
- ▶ 業界の景況では、「好転した」業種は2から1に減少。「悪化した」業種は20から17に減少。

### 前年同月比

- ▶ 製造業では、売上高において「増加した」業種は2から3に増加。「減少した」業種は9のまま変化なし。
- ▶ 非製造業では、売上高において「増加した」業種は4から5に増加。「減少した」業種は14から15に増加。
- ▶ 業界の景況では、「好転した」業種は3から2に減少。「悪化した」業種は24のまま変化なし。

### 製造業

#### 豆腐製造

【県内全域】

豆腐製品の原料である大豆（輸入）、油の価格が高止まりを続けている。

#### 製材

【県内全域】

景況感は悪化の方向に向いている。

#### 製材

【木更津】

10月はロシア材船2船入港（5,500m<sup>3</sup>）、南洋材船1船入港。業界の動向としては、設備を考えるが、資金等で難しい。古い設備で運転を続け耐えている状況。

#### 印刷

【県内全域】

受注売上は、9月と比較して若干だが好転。11月の連休向けや冬のボーナス商戦に向けての商業印刷物が多少動き出したようだ。

全国の下請け専門の印刷会社が夏場以降頻繁にセールスに来る。

一つには景気やパラダイムシフトを反映した印刷需要減、二つ目として10社を超える印刷通販会社の実現など、印刷マーケットの環境変化が営業の最前線にも顕著に現れているようだ。

#### 生コン製造

【県内全域】

昨年から上向いている。業界の動向としては、品質管理体制の強

化、コンクリート舗装のPR活動、残コン、戻りコン処理問題。

#### 電気鍍金

【千葉】

昨年同月比で、12.5%減。日銀、経産省においても平成24年第2四半期全体では、海外経済の減速で景気判断を引き下げている。足踏み状態と政府、日銀が発表しているが、中小企業はすでに、袋小路に入っている感が強い。

#### 鉄工

【千葉】

当組合が実施した事業所動向調査によると、「受注・販売」等主要指標について増加している企業が数社あったものの、直近に至り、外需環境下振れから生産減が鮮明になっており、景況感は大きく落ち込んできている。先行き動向を懸念視する声が多くなった。

#### 機械部品製造

【野田】

全般に普通状況に近く、このまま継続の回復を期待したい。業界動向も全般に良い傾向に向きそなう感じの状況。

#### 機械部品製造

【流山】

業種によっては、売上高が増えているが、収益面は8月分、9月の夏季の電気使用量が昨年より増加しているので、収益が厳しい。

#### 機械部品製造

【柏】

全体的に悪い。特に中国市場のマイナスが大きく、特に自動車は減税を終えたことも重なり、落込み大。業界の動向としては、日中問題が長引きそうな気配の中、非常に不透明。

#### ■金属製品製造

【船橋】

客先の中国販売減少の影響があり、10月は生産計画が下方修正された。

#### ■土砂採取

【県内全域】

前月同様、一部復興需要の関係で骨材需要増加のところもあるが、全体的には景気の低迷により引き続き県内全体の骨材の需要は減少傾向が著しい。

#### ■非製造業

##### ■総合卸売

【千葉県・東京都】

秋口に入り、総じて売上減少、採算性が悪化しているとする企業が増加している。

金融円滑化法の適用期限が迫っていること等、今後の資金繰りに不安を抱く先が出てきている。

##### ■食肉卸売

【千葉市他】

明るい兆しが見えてこない。厳しい経営環境が続いている。

##### ■建築材料卸売

【県内全域】

欧米中印の下期減速経済予想により気持ちはうつむき加減である。

セメント関連はタイムラグがある

せいか当面は（契約残消化するだけだが）底固い需要はある。災害復興と公共設備更新は喫緊の問題だが、資金がネックで遂行に支障。

全体需要は前年より少ないが前々年や前々々年よりは多いので横這いか。

##### ■自動車解体

【県内全域】

スクラップ価格はさらに下落し、リーマンショック後の状況に近い。廃車発生量が少ないため、十分な仕入価格への繁栄ができない状態。

##### ■乾物卸売

【県内全域】

消費低迷状況は変わらない。

##### ■小売

【柏】

消費者の購買意欲が全く感じられない。

##### ■電気機器小売

【県内全域】

9月に引き続き10月も大変厳しい。顧客からの電話も減っている。量販店もがらすきの模様。業界の動向としては、各メーカーでの家電部門の落ち込みがひどい。どうにもならないらしい。

##### ■青果小売

【千葉】

野菜、果物ともに相場を大きく下げたため、売価も下がり利益も低下。電気代の値上げ等経費がかさみ今後不安を残した。

##### ■中古車仕入・販売

【県内全域】

エコカー補助金終了の反動減に伴い、全体にタマ不足感が広がって、成約を押し上げる状況になるも台当り単価は低く、小売りも安い車両が主になっている。一方、輸出は好調で前年を上回り増加している。

##### ■小売

【東金】

秋の季節がなく、冬に突入の感あり。食品等もシビアな買い物になってきている。ファッション関連も低迷。サービス部門の落ち込みが大。特に旅行は落ち込んだ。

##### ■小売

【野田】

気温が高めに推移したため、秋物衣料の立ち上がりが悪かった。また、消費税増税が先行し、節約志向が高まり、消費者の財布のヒモは固い。

##### ■印鑑小売

【県内全域】

営業は特需にて売上は増加したが、特需分を引けば前年売上を割っている。店売は、前年売上△10%ダウン、合算で±0になった。

##### ■小売・サービス

【柏】

買取り、低価格化は止まっていない。会員の中にも定休日を見直したり、定休日でも営業する店舗が出ている。商店会でも顧客にどう回遊して貰えるか苦慮している。

##### ■建設揚重

【県内全域】

短期の工事が主で、継続する工事は少ないがまあまあ稼働状況。

##### ■遊覧船

【鴨川】

依然として、観光客は戻らない。ついに今期に入って10月は前年比割れとなった。

##### ■一般廃棄物処理

【千葉市】

本年度で一番良い月になったが、前年と比べると変わりない状況である。11月、12月と年末に向けてさらに良い状況になるよう期待。

##### ■ソフトウエア

【県内全域】

景況の良い企業、悪い企業の二極化が進んでいるようだ。

##### ■建設

【県内全域】

当連合会加入組合員の受注額は10、627百万円であった。これは、前月比ではほぼ同額。前年比では1、965百万の増加。要因としては国の受注が件数金額とも増えた。

##### ■貨物運送

【野田】

昨年比で良くならない月が多く、全体的に景気の沈下が止まらない気がする。年末商戦に期待。

##### ■輸出入

【県内全域】

中国との影響はあるものの、前月比、対前年同月比も少しずつ増加した。